

第4学年国語科学習指導案

指導期間 平成14年9月2日～9月30日

指導学級 江刺市立岩谷堂小学校

第4学年 1学級

男子18名 女子22名 計40名

指導者 澤田美樹子(長期研修生)

1 単元名 「本の世界を広げよう」～光村図書『かがやき』4年上巻

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、「シリーズ作品に興味をもつ」ことを中心として、あまんきみこ作「白いぼうし」「本のさがし方」「ポスターをかいて作品をしようかいしよう」の三つの教材から成っている。

「白いぼうし」は、本単元において、核となる教材である。この作品をきっかけとして、自分で本を探して読み、その体験を交流することで、より豊かな読書生活へつなげていくことになる。現実と非現実が交差するファンタジーの要素を多く含んだ「白いぼうし」は、登場人物について考えたり、作品を包み込む温かく豊かな表現を味わったりと、大いに想像をふくらませながら読み深めることのできる作品である。また、主人公の松井さんが同じように不思議な体験をする作品は、この他に20作品あり、「白いぼうし」の世界を楽しんだ児童がさらに同シリーズの作品を探して読むことが容易にでき、シリーズ作品に興味をもち、本の世界を広げるためには、最適な教材であるといえよう。

「本のさがし方」は、図書室の利用についての学習である。3学年では、大まかな十進分類法について学んでいる。ここでは、それをふまえつつ、目録やコンピューターを使った探し方を知ることになる。本の探し方を知ることにより、目的をもって本を探することができるようになる。

「ポスターをかいて作品を紹介しよう」は、本の紹介活動である。友達が読みたくなるように工夫しながらも、必要な事柄をもらさずにポスターをかく。かいた児童も見た児童も、また新たに本を読みたくなるような意欲をもたせることのできる教材である。

(2) 児童について

児童は、これまでに、国語や朝学習の時間などを利用して、日常的に読書に取り組んできている。しかし、自分の興味・関心に応じての本の選択であるので、選択する本の種類が偏りがちになり、なかには、雑誌類にしか手をのばさない児童もいる。また、どういった本を読んでよいか分からずに、本の選択に漫然と時間をかける児童もいる。

そこで、教材文をきっかけとして、シリーズをはじめとした同じ作者の本に関心をもたせ、読書生活の広がりを図っていくことが大切であると思われる。

(3) 指導について

本単元においては、まず核となる教材である「白いぼうし」を、児童が強く興味・関心を持ち読み深めていくことが、次教材「本のさがし方」「ポスターをかいて作品をしようかいしよう」に効果的に結び付くことにつながる。そこで、本単元では、理解し、楽しみ、深く考えるためのゲーム的な活動を通じて児童を本の世界に引き込む「アニメーション活動」を取り入れて、学習を進めることとする。

3 単元の目標

シリーズ作品について興味・関心をもち、読みたい本を探して読むことができる

4 単元の指導計画（全15時間）

段階	時	学習指導目標	アニメーション活動	主な学習活動	
関心をもつ 核となる教材文に強く興味・	1	○ シリートを課題にする	あらすじをつかむ活動 作戦1 「ダウトをさがせ」 作戦2 「物語ばらばら事件」	<ul style="list-style-type: none"> ・ シリーズ作品について知り、興味をもつ ・ 教材文の範読を聞く ・ 違う言葉に置き換えのある教材文の範読を聞き、間違いを当てる ・ 学習課題を設定し、学習の見通しをもつ ・ 教材文をばらばらにしたカードを元通りにする ・ あらすじや登場人物について確認する ・ 教材文について感想をもつ 	
	1	○ おお人物がお登場			<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味をもち、設定が ・ 登場人物の心情がわかる ・ 登場人物の心情がわかる
読みを深める 教材文の魅力に迫りながら	3	○ 登場人物の心情がわかる	自分の視点で内容とらえる活動 作戦3 「名探偵はわたしだ！」 作戦4 「本のかげらが語り出す」 作戦5 「ぼくのタイトル、ナンバー1」	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ毎に、登場人物についてどんな人物が読み取る ・ 自分と比べながら、主人公の心情についてまとめる ・ 渡されたカードに書かれた言葉がどこに出てきたか考える ・ その言葉がどんな感じを表しているかまとめる ・ 自分の読み取った内容を短くまとめる ・ 教材文について学習後の感想をもち、自分の考えが深まったことに気付く 	
		○ 教材感、がとこと			<ul style="list-style-type: none"> ・ つまみ分けが ・ 自分なりに考える
読みの楽しさを味わう 教材文と関連した文章を対象を広げ	3	○ 図書館探り	自分の考えを表現する活動 作戦6 「クイズ大作戦」 作戦7 「本を囲んでわいわい話そう」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館での本の探し方について知る ・ シリーズ作品を探して読む ・ 面白かった本を選び、同じ本を選んだ人どうしてグループを作る ・ 友達にも読んでもらえるように、宣伝活動を行う ・ 本の内容についてクイズを作る ・ 自分たちが作った問題を出し合い、正答を競う ・ シリーズ作品の感想をもつ ・ 読書について考え、話し合う ・ 学習を振り返って、感想をもつ 	
	4	○ 友達と工夫			<ul style="list-style-type: none"> ・ 本が ・ 読む
	2	○ シリートを課題にする			<ul style="list-style-type: none"> ・ 品流で ・ 作戦が
	1	○ 単元、話し			<ul style="list-style-type: none"> ・ 返す ・ 話し

(注) 太字は、手だてにかかわる学習活動（「アニメーション活動」）を示している。

5 展開案

<第1時>

(1) 核となる教材に強く興味・関心をもつ段階

ア 目標

- 「白いぼうし」やそのシリーズ作品に興味をもち、学習課題を設定することができる
作戦1「ダウトをさがせ」をすることで、登場人物を把握することができる

イ 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (10)	1 シリーズ作品について知る 2 学習課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">みんなの学習課題をつくろう</div>	・児童が知っているシリーズ作品を提示し、シリーズ作品に興味をもたせる
展 開 (30)	3 教材文の範読を聞く 4 教材文の間違った範読を聞き、間違いを探す 5 「アニメーション活動」について知る 6 学習課題を設定し、学習の見通しをもつ <div style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center;">アニメーション活動をして、「白いぼうし」のシリーズの本を読もう</div>	・キーワードになる言葉に着目させるため、その言葉を違う言葉に置き換えて範読する ・登場人物については、紙板書を用意して確認する ・間違った言葉との語感の違いについても、できるだけふれる ・「アニメーション活動」のねらいと具体的活動内容を知らせる
終 末 (10)	7 本時を振り返って感想を書く 8 次時の学習活動を確認する ・あらすじをつかむ「アニメーション活動」をすることを知らせる	

ウ 評価

- シリーズ作品について興味をもち、学習課題を設定することができたか

<第2時>

(1) 核となる教材文に強く興味・関心をもつ段階

ア 目標

- 教材文に興味・関心をもち、登場人物やあらすじをおさえることができる
- 作戦2 「物語ばらばら事件」をすることで、あらすじを確認することができる

イ 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (5)	1 配布されたカードを読む 2 学習課題をつかむ 「白いぼうし」の話のじゅんじょをたしかめよう	・教材文の一部が書かれたカードを全員に配布する
展 開 (35)	3 自分のカードを読みあげ、順番に並ぶ 4 正しく並ぶことができたか、話し合いながら、あらすじを確認する	・全体を3つのグループに分け、その中で並べ替えをすることで、見当を付けやすくする ・分からない時や迷った時には、他の児童のアドバイスをもらってもよいこととする ・全員が必ず発表することで、発表することに慣れさせる ・並び直す時は、どうしてそう考えたのか、理由もあわせて発表させる
終 末 (5)	5 「白いぼうし」の感想やこれから勉強したいことを書く 6 次の学習活動を確認する ・「白いぼうし」の内容の読み取りをする	

ウ 評価

登場人物やあらすじをおさえ、教材文に興味・関心をもつことができたか

<第3時>

(2) 教材文の魅力に迫りながら読みを深める段階

ア 目標

- 叙述から登場人物の性格や気持ちを想像し、内容を理解することができる

作戦3 「名探偵はわたしだ」をすることで、叙述に基づいて読み取ることができる

イ 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (5)	1 小グループに分かれ、探偵事務所をひらく 2 学習課題をつかむ (5) 女の子のゆくえをさぐる	・グループ毎に事務所の看板を作って黒板に貼る
展 開 (35)	3 グループ毎に調査問題に取り組む ・松井さんについて ・女の子について 4 調査問題について話し合う	・小グループで話し合うことにより、自分の考えを話すことの抵抗感を減らす ・根拠となる叙述をもとにして考えることを確認する ・賛同を得た解答には点を与え、意欲をもたせる
終 末 (5)	5 本時の学習を振り返る 6 次時の学習活動を確認する	

ウ 評価

- 登場人物の特徴をつかみ、内容を理解することができたか

<第4時>

(2) 教材文の魅力に迫りながら読みを深める段階

ア 目標

- 色やにおいなどを表す言葉からイメージを膨らませ、表現の豊かさを感じ取ることができる

作戦4 「本のかげらが語り出す」をすることで、物語の細部の表現に気を付けて読むことができる

イ 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (5)	1 二つの文を読み、言葉の与える感じに気付く 2 学習課題をつかむ	・対照的な二文を提示し、どんな感じがするか、どうしてそう思うかを話し合わせる
	「白いぼうし」の中の言葉がどんな感じがするか考えよう	
展 開 (35)	3 グループ毎に言葉を探す ・「色」を感じさせる言葉について ・「におい」を感じさせる言葉について ・その他の言葉について 4 言葉の表す感じについて話し合う	・どの言葉からどんな感じがするのか、まとめさせる ・小グループで話し合うことにより、自分の考えを話すことの抵抗感を減らす ・一つの感じにまとめるのではなく、いろいろな感じ方があることに気付かせる
終 末 (5)	5 本時の学習を振り返る 6 次時の学習活動を確認する	

ウ 評価

- いろいろな表現が教材文の特徴を生み出していることに気付くことができたか

<第5時>

(2) 教材文の魅力に迫りながら読みを深める段階

ア 目標

- 教材文について感想をまとめ、自分の考えが深まったことに気付く

作戦5「ぼくのタイトル、ナンバー1」をすることで、自分の読み取った内容を短くまとめることができる

イ 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (5)	1 タイトルのもつ意味を考える 2 学習課題をつかむ (新しいタイトルを付けて、「白いぼうし」のまとめをしよう)	・内容が分かる、長すぎない、他の人が読みたくなるという観点を示す
展 開 (35)	3 新しいタイトルを考える ・考えたタイトルをカードに書く 4 グループ毎に話し合い、グループで一つにしぼる 5 グループから出されたタイトルを発表し、全体場で話し合う 6 今までの学習を振り返って、「白いぼうし」の感想を書く	・どうしてそのタイトルを付けたのか、作成者に話してもらい、感想を出し合う ・どのタイトルがよいか投票してナンバー1を決める。その際、どのタイトルにもよさがあることを確認する ・第2時に書いた感想との違いに気を付けて書くようにさせる
終 末 (5)	5 本時の学習を振り返る 6 次時の学習活動を確認する	・次時からは、シリーズ作品に読書範囲を広げていくことを確認する

ウ 評価

- 教材文について感想をまとめ、自分の考えが深まったことに気付いたか

<第6～8時>

(3) 教材文と関連した文章に対象を広げ読みの楽しさを味わう段階

ア 目 標

- 図書館での本の探し方について知り、「白いぼうし」と関連した本を探して読むことができる

イ 展 開 (3時間扱い)

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (5)	1 本を探した経験を話し合う 2 学習課題を確認する (5) 図書館での本の探し方をおぼえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・目的の本を見つけられずに困った経験を発表させ、課題につなげる
展 開 (120)	3 本校の本の配架について知る ・9類・・・作者の名前の50音順 ・その他・・・教科別 ・ラベルの表示法 4 十進分類法について知る 5 「白いぼうし」に關係する本を探して読む	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の絵図を示すことにより、具体的なイメージをもたせる ・市立図書館等で調べる際の目安として、カードやコンピューターでの検索法と合わせてふれる ・本校の図書館以外からも本を集め、全員に一冊以上本が行き渡るようにする
終 末 (10)	5 読んだ作品について感想を発表する 6 次時の学習活動を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・次時からは、印象に残ったシリーズ作品毎にグループを作って学習を進めていくことを確認する

ウ 評 価

- 図書館での本の探し方について知り、「白いぼうし」と関連した本を探して読むことができたか

<第9～10時>

(3) 教材文と関連した文章に対象を広げ読みの楽しさを味わう段階

ア 目標

○ 友達が読みたくなるように工夫して本の宣伝活動ができる

イ 展開 (2時間扱い)

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (5)	1 どんなシリーズ作品があったか話し合う 2 学習課題を確認する	・まだ読んでいない作品がありそうなことに気付かせ、課題につなげる
	みんなが読みたくなるようなおすすめの本のせんでんをしよう	
展 開 (75)	3 宣伝したい本別のグループを作る 4 どういう宣伝をしたいか活動計画を立てる 5 計画にそって活動をする	・印象に残った本を選び、4～5人程度のグループを作る ・今後のグループ学習がスムーズに進められるように、計画や役割分担をしっかりと話し合わせる ・書名、主な登場人物、あらすじ、おすすめの場合は、必ず宣伝に盛り込ませる
終 末 (10)	5 本時の学習を振り返る 6 次時の学習活動を確認する	・お互いの表現の工夫のよさについて気付いたことを発表させる ・次時からは、グループ毎に「クイズ大作戦」の準備を確認する

ウ 評価

○ 友達が読みたくなるように工夫して本の宣伝活動ができたか

<第11～12時>

(3) 教材文と関連した文章に対象を広げ読みの楽しさを味わう段階

ア 目 標

○ 選んだ本の内容からクイズ問題を作ることができる

作戦6「クイズ大作戦」の問題作りをすることにより、作品を深く読むことができる

イ 展 開 (2時間扱い)

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (5)	1 シリーズ作品に関するクイズを解く 2 学習課題を確認する 「クイズ大作戦」の準備をしよう	・簡単なクイズに取り組むことで、自分達も作ってみたいという意欲をもたせる
展 開 (75)	3 「クイズ大作戦」の計画を立てる ・ルール、全体の役割分担を決める ・グループ毎に活動計画を立て、役割分担をする 4 計画に従って、準備を進める	・活動がスムーズに進むように、計画をしっかりと立てさせる ・クイズとその答えを複数用意させる ・早く終わったグループは、他のグループが出題する問題に正しく解答できるよう、作戦を立てさせる
終 末 (10)	5 本時を振り返る 6 次時の学習活動を確認する	・次時は、「クイズ大作戦」をすることを確認する

ウ 評 価

○ 選んだ本の内容からクイズ問題を作ることができたか

<13～14時>

(3) 教材文と関連した文章を対象を広げ読みの楽しさを味わう段階

ア 目標

- 各グループ毎に作った問題を出し合い解くことによって、シリーズ作品について興味・関心を高めることができる
- 作戦6「クイズ大作戦」をすることにより、作品について興味・関心を高めることができる

イ 展開 (2時間扱い)

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (5)	1 学習課題を確認する 「クイズ大作戦」をしよう	
展 開 (75)	3 「クイズ大作戦」のルールを確認する 4 得点を集計する	<ul style="list-style-type: none">・進行係、採点係、計時係に運営をまかせ、できるだけ自分達で「クイズ大作戦」が進められるようにする・問題を出題したり解答をしたり順番をグループ内で決め、全員が発表するようにする。・順位を付けるが、そこにはあまりこだわらないような雰囲気作りを心懸ける。
終 末 (10)	5 本時を振り返る 6 次時の学習活動を確認する	<ul style="list-style-type: none">・分からない問題があったこと、まだ読んでいない作品があったこと等の感想を、これからの読書につなげていくよう助言する・次時は、「本を囲んでわいわい話そう」をすることを確認する

ウ 評価

- 各グループ毎に作った問題を出し合い解くことによって、シリーズ作品について興味・関心を高めることができたか

<第15時>

(3) 教材文と関連した文章に対象を広げ読みの楽しさを味わう段階

ア 目 標

○ 学習を振り返り、読書について自分の考えをもつことができる

作戦7「本を囲んでわいわい話そう」をすることにより、シリーズ作品を読むことの楽しさを交流する

イ 展 開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入 (5)	1 今までの学習を振り返る 2 学習課題を確認する 「本の世界を広げよう」の学習のまとめをしよう	
展 開 (30)	3 今まで読んできた本について話し合う ・あらすじを確認する ・心に残ったところを話し合う ・自分と比べて考える	・一つの考えにまとめるのではなく、いろいろな感じ方があることに気付かせる ・自分の生活経験や考え方と登場人物と比べて考えをもたせる
終 末 (10)	4 今までの学習を振り返って考える	・読書の幅を広げていくよさについて、ノートにまとめる

ウ 評 価

○ 学習を振り返り、読書について自分の考えをもつことができたか